



高耐候速乾アクリルシリコン樹脂系ルーフ用塗料

スーパーシリコンルーフペイント

優れた耐候性・豊富なカラー

トタン屋根だけでなく、新生瓦、セメント瓦などの
屋根材にも使用することができます。

スーパーシリコンルーフペイント

優れた耐候性

アクリルシリコン樹脂を用いていますので2液のポリウレタン樹脂塗料以上の耐候性・耐久性を保持しています。

豊富なカラー

カラーバリエーションが豊富で様々なイメージ演出に対応することができます。屋根用カラーサンプルを金属系と窯業系でご用意しております。

幅広い旧塗膜適性

塗料用シンナーでうすめることができるため、旧塗膜を侵しません。

優れた速乾性

速乾性で塗装後の結露や降雨による白化がおりにくく、施工時間の延長が可能です。また、低温時の乾燥性にも優れています。

幅広い素材適性

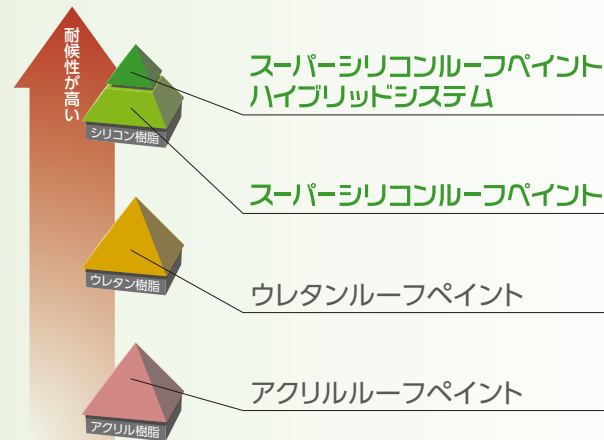
アクリルシリコン樹脂を用いていますので、従来のトタン屋根に加え無機質系(セメント系・スレート系)素材にも適用できます。

1液でも2液でもOK

SSRハイブリッド硬化剤を用いることによって、1液から2液ルーフペイントとして使用できます。

屋根用塗料もいろいろ

塗料の樹脂は図の通り、上のランクほど耐候性が好くなります。



高光沢で耐候性(ツヤ持ち)が抜群!

だから塗り替え周期が一番長い!

だからお得!

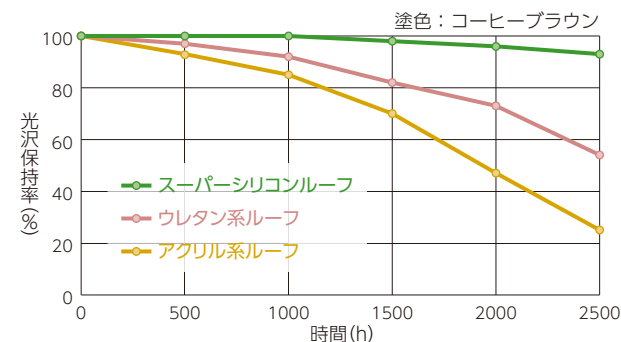
結局 スーパーシリコンルーフが一番お得です。

品質

荷 姿	14L
色	標準色(29色)
つ や	つや有り(グラファイト3分つや)
仕 上 が り 感	平滑
塗 料 比 重	0.96~1.24
劇物表示 (品名・含有量)	—
労安法に基づく表示有害物	キシレン、エチルベンゼン
使用有機溶剤種別	第3種有機溶剤
消防法による危険物区分	第4種 第2石油類(非水溶性)
硬化剤の成分による区分	—

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。
注) 特注対応により、つや消し(3分つや有り程度)が可能です。

促進耐候性試験：XWOM2500時間



スーパーシリコンルーフペイント ハイブリッドシステム 凍結・融解を繰り返す厳しい雪国の環境から屋根を守ります。

SSRハイブリッド硬化剤を用いたシステム

特 長

- ① 素地への密着力和耐水性が更に向上します。
没水状態に匹敵するようなスノーダクトや勾配の緩い屋根のような凍結融解の激しい部位に最適です。
- ② 1液では従来のアクリルシリコン樹脂の性能を保持したまま使用でき、「SSRハイブリッド硬化剤」を用いることで強靱な架橋反応を得ることができます。
完全2液ルーフペイントとして使用できるので、1つのベース材で状況に応じた使用法が可能です。
- ③ 「スーパーシリコンルーフ」常備色全てに対応できます。

性能比較

試験項目		スーパーシリコンルーフ	スーパーシリコンルーフハイブリッドシステム
光沢20/60°G		76/85	83/90
凍結融解サイクル	30 サ イ ク ル	○	○
	50 サ イ ク ル	△	○
塗膜物性	伸 び 率 (%)	79.0	98.0
	破断応力 (N/mm ²)	10.5	13.0
促進耐候性 XWOM3000h	光 沢 保 持 率 (%)	86	90
	色 差 (Δ E)	0.67	0.41

SSRハイブリッド硬化剤製品概要

- 製品名：SSRハイブリッド硬化剤
 - 製品コード 69-127-001
 - 製品コード 69-127-002(低温用)
- 容 量：2L【1L×2本】
(14Lに対して2L使用します。出荷は2本1セットとなります)
- 混合比：ベース／硬化剤=7／1
(ベース14Lを14kg、硬化剤2Lを2kgとして計算してください)

※ポットライフは 23℃で 3～4 時間程度ですので、2～3 時間で使い切れる程度の量を調査してご使用ください。

あなたの家の屋根は、大丈夫ですか？

このような兆候が見られましたら、塗り替え時期です。



樹木の落ち葉や大気の汚れが蓄積して、そこから塗膜を劣化させていきます。



さびの発生が屋根全体の3%位に達すると、急速にさび面は拡大していきます。



つや(光沢)がなくなれば、それは塗膜が劣化した第一段階です。



塗膜の劣化が進むと手でさわればベタリと白い粉状となって付着します。



塗膜がハガれて金属がむき出しになると、さびが発生し、最終的には腐食し雨水が浸入します。



ガムテープなどで、付着具合を確かめます。塗膜がテープに1割以上付着していたら塗り替えをおすすめします。

スーパーシリコンルーフペイント 標準塗装仕様

トタン						
工 程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装方法	希釈率 (%)	希釈剤	塗装間隔 (23℃)
素地調整	高圧洗浄、3種ケレン程度の処理を行い、さび、劣化（膨れ・フレ・浮き）塗膜・ごみ・汚れなどを入念に除去した清浄な面にする。 素地露出部は下塗り工程で補修塗りを行う。					
下塗り	ザウルスEXⅡ または アレスルフエボプライマー	0.13～0.17	はけ、ローラー エアレス	0～10 5～15	塗料用シンナーA	4時間以上 7日以内
上塗り (1回目)	スーパーシリコンルーフペイント	0.11～0.13	はけ、ローラー エアレス	5～15 5～15		2時間以上 7日以内
上塗り (2回目)	スーパーシリコンルーフペイント	0.11～0.13	はけ、ローラー エアレス	5～15 5～15		—

※所要量は被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減する場合があります。
※亜鉛メッキ、塩ビ被覆銅板へ適用する場合は、別途ご相談ください。
※JIS K 5629(鉛酸カルシウムさび止め塗料) は使用しないでください。

トタン【SSR/ハイブリッド硬化剤】						
工 程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装方法	希釈率 (%)	希釈剤	塗装間隔 (23℃)
素地調整	高圧洗浄、3種ケレン程度の処理を行い、さび、劣化（膨れ・フレ・浮き）塗膜・ごみ・汚れなどを入念に除去した清浄な面にする。 素地露出部は下塗り工程で補修塗りを行う。					
下塗り	ザウルスEXⅡ または アレスルフエボプライマー	0.13～0.17	はけ、ローラー エアレス	0～10 5～15	塗料用シンナーA	4時間以上 7日以内
上塗り (1回目)	スーパーシリコンルーフペイント SSRハイブリッド硬化剤 (ペース/硬化剤=7/1)	0.11～0.13	はけ、ローラー エアレス	0～15 5～15		2時間以上 7日以内
上塗り (2回目)	スーパーシリコンルーフペイント SSRハイブリッド硬化剤 (ペース/硬化剤=7/1)	0.11～0.13	はけ、ローラー エアレス	0～15 5～15		—

※所要量は被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減する場合があります。
※新生瓦、セメント瓦へ適用する場合は、別途ご相談ください。
※亜鉛メッキ、塩ビ被覆銅板へ適用する場合は、別途ご相談ください。
※JIS K 5629 (鉛酸カルシウムさび止め塗料) は使用しないでください。
※ポットライプは23℃で3～4時間程度ですので、2～3時間で使い切れる程度の量を調整してご使用ください。

ガルバリウム鋼板 ※焼付旧塗膜がある場合・旧塗膜がなく経年している場合						
工 程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装方法	希釈率 (%)	希釈剤	塗装間隔 (23℃)
素地調整	高圧洗浄、3種ケレン程度の処理を行い、さび、劣化（膨れ・フレ・浮き）塗膜・ごみ・汚れなどを入念に除去した清浄な面にする。 素地露出部は下塗り工程で補修塗りを行う。					
下塗り	エポマリンGX (ペース/硬化剤=9/1)	0.16	はけ、ローラー	0～5	テクトEP シンナー	16時間以上 10日以内
上塗り (1回目)	スーパーシリコンルーフペイント	0.11～0.13	はけ、ローラー エアレス	0～15 5～15	塗料用シンナーA	2時間以上 7日以内
上塗り (2回目)	スーパーシリコンルーフペイント	0.11～0.13	はけ、ローラー エアレス	0～15 5～15		—

※所要量は被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減する場合があります。
※塗膜がない新設の場合は、付着不良（ハガリ）が発生する恐れがありますので、塗装を避けてください。
※上記のほか、下塗りとしてスーパーザウルスを使用できます。
※亜鉛メッキ、塩ビ被覆銅板へ適用する場合は、別途ご相談ください。

セメント瓦 ※劣化度：小						
工 程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装方法	希釈率 (%)	希釈剤	塗装間隔 (23℃)
素地調整	劣化した旧塗膜や表面の化粧層、砂、ホコリ、汚れ、コケなどは高圧水洗洗浄機やワイヤブラシなどを用いて入念に除去してください。 その後、水分がなくなるまで十分に乾燥させてください。					
下塗り	ヤネ強化プライマー-EPO	0.20～0.45	はけ、ローラー エアレス	—	塗料用シンナーA	4時間以上 7日以内
上塗り (1回目)	スーパーシリコンルーフペイント	0.11～0.13	はけ、ローラー エアレス	5～15 5～15		2時間以上 7日以内
上塗り (2回目)	スーパーシリコンルーフペイント	0.11～0.13	はけ、ローラー エアレス	5～15 5～15		—

※所要量は被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減する場合があります。
※洋風コンクリート瓦（モニエル瓦）粘土瓦（いぶし瓦、釉薬瓦など）には塗装できませんのでご注意ください。
※下地劣化度の判断は「セメント瓦葺り工法」のカタログをご参照ください。
※下地処理が十分に行える場合は下塗り工程を省略することもできます。

セメント瓦 ※劣化度：中および大						
工 程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装方法	希釈率 (%)	希釈剤	塗装間隔 (23℃)
素地調整	劣化した旧塗膜や表面の化粧層、砂、ホコリ、汚れ、コケなどは高圧水洗洗浄機やワイヤブラシなどを用いて入念に除去してください。 その後、水分がなくなるまで十分に乾燥させてください。					
下塗り	ヤネ強化プライマー-EPO	0.20～0.45	はけ、ローラー エアレス	—	塗料用シンナーA	4時間以上 7日以内
中塗り	アレスルフファイラー	0.30～0.80	はけ、ローラー エアレス	0～5 0～10		2時間以上 7日以内
上塗り (1回目)	スーパーシリコンルーフペイント	0.11～0.13	はけ、ローラー エアレス	5～15 5～15		2時間以上 7日以内

※所要量は被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減する場合があります。
※洋風コンクリート瓦（モニエル瓦）粘土瓦（いぶし瓦、釉薬瓦など）には塗装できませんのでご注意ください。
※下地劣化度の判断は「セメント瓦葺り工法」のカタログをご参照ください。
※下地処理が十分に行える場合は下塗り工程を省略することもできます。

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。
詳細な内容については化学物質等安全データシート（MSDS）をご参照ください。

■ 予 防 策

取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具（帽子・保護めがね・マスク・手袋等）を着用し、身体に付着しないようにすること。吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所に局所排気装置を設けること。

皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・スリ巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。

火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。

裸火又は高温の白熱体に触れないこと。

本来の目的以外に使用しないこと。

指定材料以外のものとは混合（多液品の混合・希釈等）しないこと。

缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。

取り扱いは、洗眼、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。

使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。

本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

■ 対 応

目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。

関西ペイント販売株式会社

本 社 TEL (03) 5711-8904 FAX (03) 5711-8934
北海道販売部 TEL (0113) 64-2424 FAX (0113) 64-5757
東北販売部 TEL (022) 287-2721 FAX (022) 288-7073
北関東信越販売部 TEL (028) 637-8200 FAX (028) 637-8223
東京販売部 TEL (03) 5711-8905 FAX (03) 5711-8935

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

中部販売部 TEL (052) 262-0921 FAX (052) 262-0981
大阪販売部 TEL (06) 6203-5701 FAX (06) 6203-5603
中国販売部 TEL (082) 262-7101 FAX (082) 264-3285
四国販売部 TEL (0877) 24-5484 FAX (0877) 24-4950
九州販売部 TEL (092) 411-9901 FAX (092) 441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご諒承ください。

新生瓦						
工 程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装方法	希釈率 (%)	希釈剤	塗装間隔 (23℃)
素地調整	劣化した旧塗膜や表面の化粧層、砂、ホコリ、汚れ、コケなどは高圧水洗洗浄機やワイヤブラシなどを用いて入念に除去してください。 その後、水分がなくなるまで十分に乾燥させてください。					
下塗り	ヤネ強化プライマー-EPO	0.20～0.45	はけ、ローラー エアレス	—	塗料用シンナーA	4時間以上 7日以内
上塗り (1回目)	スーパーシリコンルーフペイント	0.20～0.25	はけ、ローラー エアレス	5～15 5～15		2時間以上 7日以内
上塗り (2回目)	スーパーシリコンルーフペイント	0.20～0.25	はけ、ローラー エアレス	5～15 5～15		—

※所要量は被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減する場合があります。
※洋風コンクリート瓦（モニエル瓦）粘土瓦（いぶし瓦、釉薬瓦など）には塗装できませんのでご注意ください。
※素地調整などによって、下塗りが基材に吸い込みやすくなる場合があります。その際には、再度、下塗り工程を行い、表面が濡れ色になることを確認して、次の工程に移ってください。
※金属部分については、ヤネ強化プライマー-EPOの代わりに、ザウルスEXⅡ、アレスクールプライマーなどの金属用さび止塗料を塗装してください。

セメント瓦 ※劣化度：小						
工 程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装方法	希釈率 (%)	希釈剤	塗装間隔 (23℃)
素地調整	劣化した旧塗膜や表面の化粧層、砂、ホコリ、汚れ、コケなどは高圧水洗洗浄機やワイヤブラシなどを用いて入念に除去してください。 その後、水分がなくなるまで十分に乾燥させてください。					
下塗り	ヤネ強化プライマー-EPO	0.20～0.45	はけ、ローラー エアレス	—	塗料用シンナーA	4時間以上 7日以内
上塗り (1回目)	スーパーシリコンルーフペイント	0.11～0.13	はけ、ローラー エアレス	5～15 5～15		2時間以上 7日以内
上塗り (2回目)	スーパーシリコンルーフペイント	0.11～0.13	はけ、ローラー エアレス	5～15 5～15		—

※所要量は被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減する場合があります。
※洋風コンクリート瓦（モニエル瓦）粘土瓦（いぶし瓦、釉薬瓦など）には塗装できませんのでご注意ください。

セメント瓦 ※劣化度：中および大						
工 程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装方法	希釈率 (%)	希釈剤	塗装間隔 (23℃)
素地調整	劣化した旧塗膜や表面の化粧層、砂、ホコリ、汚れ、コケなどは高圧水洗洗浄機やワイヤブラシなどを用いて入念に除去してください。 その後、水分がなくなるまで十分に乾燥させてください。					
下塗り	ヤネ強化プライマー-EPO	0.20～0.45	はけ、ローラー エアレス	—	塗料用シンナーA	4時間以上 7日以内
中塗り	アレスルフファイラー	0.30～0.80	はけ、ローラー エアレス	0～5 0～10		2時間以上 7日以内
上塗り (1回目)	スーパーシリコンルーフペイント	0.11～0.13	はけ、ローラー エアレス	5～15 5～15		2時間以上 7日以内

※所要量は被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減する場合があります。
※洋風コンクリート瓦（モニエル瓦）粘土瓦（いぶし瓦、釉薬瓦など）には塗装できませんのでご注意ください。
※下地劣化度の判断は「セメント瓦葺り工法」のカタログをご参照ください。
※下地処理が十分に行える場合は下塗り工程を省略することもできます。

料を容器に戻すなどすると、水分の影響でゲル化する恐れがあります。なお、開缶後は速やかにご使用ください。

③有機溶剤を使用しているため、施工・保管には十分に配慮してください。

④エアレスによる塗装の場合は、塗膜ミストによる汚染防止のために十分な養生を行ってください。

⑤錆が発生している箇所はワイヤブラシ・サンドペーパー等で完全に除去してください。

⑥ほこり・油・樹脂等は、塗装前に溶剤拭き・水洗い（温水）等で十分に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。特にトタン・のり曲がり部分はほこり・砂等がたまり易いので入念な清浄を行ってください。

⑦剥がれがわかってる旧塗膜は入念に除去してください。

⑧低温・多湿時に塗装し、未乾燥状態で夜露などにあたるとツヤ引けを起こすことがあります。

⑨秋期のような昼と夜の温度差が激しい時期は、結露による艶引け現象が起こり易いため、時間を考慮して塗装を行ってください。

⑩JIS K 5629（鉛酸カルシウム錆止め塗料）は使用しないでください。

⑪グラブ付・色は施工後の乾燥塗膜が滑りやすいのでご注意ください。

⑫高圧洗浄を行なうと塗膜が滑りやすくなりますので、足場には十分注意してください。

⑬高圧洗浄後は被塗面を十分に乾燥させてください。膨れ・割れ・剥がれの原因になります。

⑭高温（40℃以上）、低温（-5℃以下）での塗料保存は避けてください。

皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。

吸い込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

漏出時や飛散した場合は、砂、布類（ウエス）等で吸い取り、拭き取ること。

火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

■ 保 管

指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。

直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。

子供の手が届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

■ 廃 棄

本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。（排水や河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。）

■ 施工後の安全

本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。